



こんにちは

白子の議会

です

第142号

令和3年12月2日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ 親子でたまねぎ植え

第3回定例会

令和3年第3回定例会が9月10日と17日に開催されました。
一般質問は、10名の議員が町政をただしました。

- 10議員が一般質問…………… 2～11ページ
- 補正予算等に対する質疑応答…………… 12ページ
- こんなことが決まりました…………… 13ページ



一般質問 町政をきく

多子世帯の支援策について

宗島 理仁 議員

議員 新型コロナウイルス

感染症の拡大の影響で、少子化がさらに進んでいます。厚生労働省によると、2020年の出生数は、84万8百32人で、5年連続の減少となりました。

さらに、今年1月から3月期の出生数は19万2千9百77人で、前年同期を9・2%も下回っています。

また、2020年の婚姻数は戦後最少の52万5千4百90組で、2019年より12・3%減少し、2020年に全国の自治体に提出された妊娠届も87万2千2百27件で、2019年から4・8%減っています。

新型コロナウイルス禍によって人が集まらないため、結婚を延期するカップルや、医療体制が逼迫する中で、産み控えるする夫婦が増えているためとみ

られています。

その中で、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して子供を産み育てることができる環境づくりを推進し、複数の子供を望む家庭の負担を減らし、子育て環境の改善をしていくべきかと思っています。

また、継続的に支援していくことで、子育てに対して負担感や不安、孤立感を感じるのはなく、保護者がしつかりと子供と向き合うことで、その成長に喜びや生きがいを感じ、未来を担う子供たちが地域全体で大切に育てられ、健やかに成長できる社会の実現をしていくべきかと思っていますが、我が町においては、多子世帯に対する支援として保育、教育でどのような施策があるのか伺います。

保育料の改正を行う

町長 令和3年度9月分の保育料より、多子世帯の保育料について改正しております。

具体的には、3歳未満児の保育料については、改正前は保育所の兄弟同時入所に限り、第2子、第3子以降についてはそれぞれ2分の1、無料としておりましたが、今回の改正により、同時入所要件を撤廃し、第2子を2分の1、第3子以降を無料としました。

教育分野での支援拡充を

議員 今後、子供たちが育っていく上で、保育、教育の分野で多子世帯への継続的な支援を新たに追加していくべきかと思っています。

他の自治体を見ても、と、入学祝い品として、ランドセルの補助、ヘルメット、文具、英和辞典、帽子、防犯ブザー、体育服などの品目が支給され

ています。学校や家庭での学習に使用する実用的な品でもいいのではないのでしょうか。

子育て、教育、生活に寄り添い、支援を行うことができる体制を整備するとともに、潜在的な支援ニーズの把握に努めるべきかと思いますが、新たな支援や仕組みを考えているのか、見解を伺います。

一つひとつを見直す

教育課長 小学校、中学校に入学しますといういろいろなことが変わります。

例えば、ヘルメットの件がでしたが、子供たち、保護者に負担を課せるのではなく、半額でも町のほうでやれることはないか、一つずつ見直していきたいと思っています。



通学路の安全対策について

大多和 正之 議員

議員 八街市5人死傷事故後、通学路の総点検を改めて行い、交通安全の強化が示され、白子町でも、通学路の点検により、薄くなっていた停止線などは改修されましたが、依然として町内の通学路を見ると、決して安心して通学できる環境にはないと思います。

以前にも質問いたしましたが、交差点の横断歩道は警察との協議で待避所、たまりを設けた際に横断歩道を設置していただけと伺っています。

また、中学生の通学路となっている中学校南側の県道の歩道整備は生徒が安心して通学できる路面表示などの現在の進捗状況を伺います。

関係各所と協議

町長 県道一宮片貝線は児童生徒の登校下校時

に、非常に通行量の多い道路です。利用者の安全確保のため、横断歩道の設置を茂原警察署に要望しており、それ以外にも、段差舗装、カラー舗装などの対応ができないか、長生土木と協議しております。

道路整備について

議員 白子町の高齢化率も約40%と、千葉県内でも上位になっていますが、駅のない白子町として独自にバス会社への補助、今年度からは、らくらくタクシーなどの支援で交通弱者の足の確保をしています。最近の移動は自転車やシルバーカーでの姿を目にします。今までの白子町の舗装道路新設は道路幅員4mが原則となっていました。が、この先の状況を考えると、道路幅員にこだわ

らず、高齢者から小さい子供たちが安心して利用できる道路整備が必要だと思いますが考えを伺います。

歩きやすい歩道の設置

町長 道路整備については高齢者や障がいのある方などの交通弱者の方々が、安全で安心して歩行できる道路を整備していくには、歩きやすい歩道を設置していくことが必要になります。

しかし、歩道の設置については、公共性が高い生活道路で未舗装箇所の舗装整備や、劣化した舗装の修繕等、できる限り段差の少ない道路整備を進めてまいります。

観光産業について

議員 平成22年には、ゆめ半島千葉国体が開催され、天皇皇后両陛下にご来町いただきました。

また、平成17年、26年には高校総体が開催され、テニスやサッカーな

ど各種スポーツリゾートとして、コロナ前にはぎわっていました。

6月議会の答弁では一般観光客も集客できる施設に変貌していかねればならない部分もあるとの回答でしたが、今後の観光産業をどのように支え発展させるのか伺います。

一日も早い観光復興を

町長 復興支援策をより確実に執行していくとともに、宿泊施設事業者が行う感染防止対策の取組に対する支援を追加し、新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら積極的な支援対策を図り、また、アフターコロナ対策についても、その状況に合わせて支援の追加等を考え、一日も早い町観光復興を目指していきたいと思っております。

アクア健康センターについて

議員 現在の指定管理が今年度で終了とのこと

で、底地購入の打診を財務省に申し出たのか。

また、底地購入、解体費用など、どのように捻出するのか。

町長の工程表によると、令和3年度に解体、底地検討とありますが、誰といつ頃から検討するか伺います。

最終的な判断を行う

町長 休養施設運営委員会を開催し、施設そのものの老朽化が激しく、継続するには困難であるということから次期の指定管理者の募集は行わず、休養施設事業を終了し、建物を解体する旨の会議結果報告を受けたところであります。

この結果を踏まえ、また、使用している国有地の今後の活用も含めた最終的な判断を行い、改めて議会をはじめ関係者皆様に報告したいと思っております。購入の打診は行っておりません。

激甚化する災害対応と 今後の減災対策について

今井 滋則 議員

避難所開設の基準は

議員 今年8月に発生した台風10号は激しい雨風をもたらし、近隣地域である一宮町、茂原市、長南町は避難所を開設し、防災無線による避難の呼びかけを行いました。一方、白子町ではそのどちらも行われず、排水ポンプの設置も行われませんでした。

なぜ白子町では災害対策が施されなかったのか伺います。

注意報であったため

町長 避難所開設の判断は、台風が最も接近する前日の銚子気象台からの情報を基に行いました。最接近の段階でも大雨警報ではなく注意報であったため、避難所開設及び排水ポンプ設置は行いませんでした。

基準となるのは風より停電が起こるか否か

議員 災害対策を行うほどの雨量ではなかったとのことですが、今回の降水量は、茂原市で一宮川の氾濫が起こった、令和元年の台風21号の時よりも多いです。

どのような判断基準から降水量が多くないと判断したのか伺います。

総務課長 白子町において災害等が発生した場合は、風による倒木で停電が発生した場合がほとんどでした。

停電になって排水機場が動かなくなってしまうと、白子町には致命的なダメージとなります。今回の台風では停電の可能性は少ないだろうという

ことでポンプの設置はしませんでした。また、停電しなければ大きな被害にはならないだろうという考えから、避難所の開設も今回は見送りました。

内水対策の取組は

議員 白子町は水害の危険性がある町です。減災対策として津波対策は概ね完了していると思われませんが、剃金東、幸治東、旧南白亀川の前川といった地域の内水対策についてはどのように考えているのか伺います。

排水機場やポンプ設備等の施設整備の検討・要望

建設課長 近年のゲリラ豪雨等による大雨によって、一時的に排水機場の能力が追い付かない場合が発生してきています。

今後の内水対策ですが、剃金地区では、現在農業事務所において改修中の南白亀第一排水機場の完成で、内水問題は改善

すると見込んでいます。幸治東地区については、現在、応急ポンプが設置されている箇所には、常時排水できるポンプ設備の設置の検討をしています。

旧南白亀川の前川については、常時排水可能な排水機場等の施設整備を県に要望していきます。

実際の内水対策の進捗状況は

議員 南白亀第一排水機場が完成すれば剃金地区の排水問題改善につながることですが、現在その工事は中止されており、その期間は半年以上にも上ります。

町長はこの工事の早急な再開のために、農業事務所や県への要望をどれだけ尽力して行っているのでしょうか。

幸治東に常時排水ポンプの設置の検討、旧南白亀川への排水機場の設置を県に要望しているとのことですので、それらの進捗状況も伺います。

現段階では行っていない

町長 要望等は現段階では全く行っていない。

また、どうしても工事が止まっているのか、私は分かっていませんでした。申し訳ないです。

議員 (要望) 茂原市で一宮川の氾濫があったように、深刻な水害は我々の身近に存在するものです。一日でも早い内水問題の解決を図り、町民が安心・安全を確保できる町づくりをお願いします。



応急ポンプによる排水

マニフェスト及び農業振興施策・

財政状況について

大多和 正夫 議員

議員 町長はマニフェストに沿った改革を公約されています。内容を確認しますと空欄の項目も多くあり、各分野で何々検討という表現が多く、何年何月から取組実施という表現が非常に少なく、マニフェスト工程表とは言い難いと思います。

① 12項目の取組順の考え方を伺います。

② 今後1～2年での優先取組事項をどのような工程で進めるのか伺います。

③ 8月1日付で行政改革担当職員2名の辞令がありました。具体的な改革の内容、方向性について伺います。

学校再編と 中小企業施策の実施

町長 最初に、教育改革については、教育長も決まっただけで空欄でありま

す。保育所、学校再編は令和3年度中に事前準備を行い、令和4年に規模、配置等委員会の設置をしたいと思っております。

中小企業施策としては、創業支援関係を進めます。②の優先課題は、行政改革、課の再編です。

③の2名の職員は兼務であり、マニフェストに関する調査、確認を行っています。

農業振興施策について

議員 近年の水田経営は就農者の高齢化及び米価の低迷等により、担い手への経営委託が増加しています。現在は30a区画の圃場が中心であり、大型機械による作業効率性が十分発揮できないのが現状です。

担い手が受託しやすい環境整備が必要であり、畦畔を取り除き区画を拡

大することが有効な手段と考えますが、町長の考えを伺います。

令和3年下期より実施

町長 農業規模の拡大、担い手の育成のため、水田畦畔の除去等担い手支援策について検討し、本年下期より補正予算百50万円を計上し、令和4年以降も継続的に進めていきます。

町の財政状況について

議員 町の令和元年度決算に基づく財政健全化の判断基準である比率は、実質公債費比率が3.7%であり、早期健全化基準25%を大きく下回っております。町のホームページにも過去からの適正な借入により、類似団体平均より下回っている」と記載されています。公債費比率が少ないのに、大きく地方債が増加した理由は何か、白子町の財政は健全なのか伺います。

町の財政状況は健全

町長 平成12年度末の地方債残高28億円に対し、令和2年度は約45億円となっております。増加の要因は、臨時財政対策債の増加によるものです。

臨時財政対策債の償還に要する費用は、後年度地方交付税で100%カバーされることになっており、臨時財政対策債を除くと平成12年度地方債残高は28億円から、令和2年度には25億円となり、実質的には地方債残高は減少しており、町財政は健全であります。

町民に健全な財政の周知を！

議員 本年6月の町長選挙前に膨れ上がった借金44億円、皆さんの財政運営と書かれたチラシが配布されました。

私の近所の方々もチラシの内容を信じておりまして、実質地方債残高は減少しており、町民に嘘の

ニュースが流されたままです。現在の財政の健全化をきちんと広報、ホームページ等で町民に周知すべきと考えますが、町長の見解を伺います。

広報等で周知する

町長 町がどんどん使って増えたわけではなく、臨時財政対策債について広報等で周知してまいります。

入札について

議員 町長は議員時代常に指名競争入札から一般競争入札に変更すべきと質問していましたが、町長就任後、2回とも指名競争入札にした理由を伺います。

指名競争入札の継続

町長 一般競争入札に比べて不良不適格業者の排除や職員の事務負担、経費の軽減ができるメリットがあるので継続していきます。

防災対策について

北田 百人 議員

議員 開通後50年を経過した南日当橋は老朽化のため、架け直しを行いましたが、剃金側の取付け道路が未だ整備が進んでおりません。

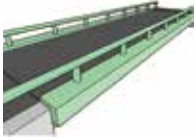
今後の整備の見通しについて伺います。

できるだけ早く

町長 剃金側の区間2百50メートルが道幅の狭い状況であることが課題に残っておりますが、今後避難道路としての機能を確保できるように事業を進めてまいります。

総務課長 現時点では、整備の見込みについて明言できないところがありますが、できるだけ早く事業を進めてまいります。

てまいりた
いと考えて
います。



非常用保存食品について

議員 白子町の人口の1割程度の非常食を備蓄しているとのことでしたが、昨今、自然災害も多発している状況で、今後備蓄量を増やす計画はありますか。

また、避難所として提携しているホテル組合への配分率はどうのような状況か伺います。

発災から3日間分を備蓄目標

総務課長 各家庭における備蓄の推進は3日分100%ですが、避難所に住民が食料、生活必需品の持参できるのを30%と計算し、自助不足を補充するため、町が必要なもの、物資、備蓄、調達を70%として考えております。

9月1日現在の備蓄数は、食料が9千食分、飲

料水は5千3百38本となっております。飲料水は目標に達成しておりますが、今年度中に達成する見込みです。

また、提携している施設27か所では、飲料水だけでなく各施設に百50本ずつを備蓄しております。

移住・定住推進事業について

議員 旧関保育所跡地は、リビングシフト事業により5区画が決まりましたが、旧南白亀保育所跡地などのほかの土地整備については今後どのような計画があるのか、町の見解をお聞かせします。

地籍調査後検討

町長 測量などにかかる経費が削減することもあり、地籍調査の手続が全て完了してから利活用の方法を検討していきたいと思っています。

譲渡型賃貸住宅について

議員 子育て世代を農村部に呼び込む一つに、移住を希望する家族のために住宅を新築して一定期間の居住を条件に所有権を譲渡する自治体の動きが広がりを見せています。

今年7月時点で全国10以上の自治体で実施しており、宅地の譲渡に加え、子供の人数に合わせ家賃を軽減するなど特徴を出して移住・定住の促進に力を注いでおります。

我が白子町もこのような制度を取り入れてみてはいかがですか。

研究・検討を行う

町長 移住・定住促進事業として若者向けに施策を推進するのは、これまでと同様に宅地分譲で整備したり、これまでと違った形の賃貸型集合住宅を整備したり、新しい生活様式に合った、今のニーズに合致する方策をあらゆる観点から研究、

検討する必要があると思います。

その中で、より効果的な町有地の土地整備に必要なため、譲渡型賃貸住宅についても研究、検討することができると思います。

早めの募集を

議員 南白亀保育所跡地とは限りませんが、早めに1軒でも2軒でも造って、募集をかけたほうがいいと思いますが、その点の見解について伺います。

十分検討

町長 譲渡型賃貸住宅は、睦沢町でも取り組んでおり、非常に評判が良く伺っています。賃貸住宅が少ない状況ではありますが、必要になってくると思いますが、十分検討していきます。



第5次総合計画の組織・機構改革は

東海林 東治 議員

議員 第5次総合計画施策体系に、組織、機構の見直しがあります。

新町長体制のもと、具体的に全力を挙げて取り組むべきであり、施策すべき点が4つあると思います。

①は、重要施策の推進に適した組織、②は、効率的で行政課題に対応できる組織、③は、トップマネジメント機能の強化、④は、住民に分かりやすい利便性の高い組織、そのためには各課の再編が必要だと思っています。

様々な観点から総合計画に掲げられた施策、事業を着実に推進していくには、限られた職員で効果的、効率的に行財政運営を進めるうえで、組織、機構改革は近々の重要課題と思いますが、当局の見解を伺います。

組織、機構改革の重要性

町長 第5次総合計画や私のマニフェストにも役場組織の見直しを行い、住民目線と社会ニーズに即対応できる、組織改編を行うと掲げております。

本年度下期で機構改革の調査、検討を実施し、令和4年に効率化、生産性の向上した組織、機構としてスタートして行きます。

職員能力の開発推進

議員 総合計画の中に職員能力開発推進がございます。私は、白子町が目指す職員像を明確化すべきと提案いたします。

① 全体の奉仕者として自覚と責任を持ち、町民に信頼される職員。それは公務員は奉仕者

で法令遵守し、町民に公平公正で誠実に対応し、不正を絶対に許さない高い倫理観を持つ職員。

② 意欲的に職務に取り組む、町民の立場に立つて行動する職員。

それは自らの業務や町の施策、方針に意欲的に取り組み、親切、思いやりを持ち、町民目線で行動する職員。

③ 常に自己啓発に努め、幅広い視野と豊かな創造性を持つ職員。

それは行政のプロを自覚し、業務遂行と問題解決のため能力を高め、町行政の中長期的な視野を持ち、柔軟で創造豊かな発想ができる職員。

④ 効率的な行財政運営を掲げ、計画的に職務を遂行する職員。

それは行財政運営、また、コストの意識を持ち事務の効率化を図り、計画的な事務の遂行に努める職員。

この4つに白子町職員像を期待しておりますが見解を伺います。

大きな課題

総務課長 職員の能力開発推進については、一人一人が行政のプロとして認識し、知識を身に着け社会情勢の変化や多様化する住民ニーズに柔軟に対応し、行政運営を推進していくため、様々な研修を受講しております。

新規採用職員研修、初級研修、中級研修、管理職研修、法務執務研修、専門的知識を習得する研修にも参加しております。

職場内研修が必要

議員 外からの研修は多々ありますが、職場内研修がなされているかどうか、住民はワンストップが出来れば一番助かる訳で、部署のたらい回しを避ける意味もあります。職員の能力開発に繋がるはずで、今後の課題として要望いたします。

人事評価制度の役割

議員 評価の公平性において、評価者の評価基準に対する目線が一定しているか、各部門間に評価のばらつきがあり、評価者の能力の格差が壁になる場合もあります。

基準統一が図れていないため、不公平感を生む原因になっている現状をどう改善していくか伺います。

マニュアル化の検討

総務課長 人事評価につきましては、課長補佐以下はその担当課長が評価者、管理職、課長、主幹においては副町長（現時点においては町長）が、最終的には全職員を町長が評価しております。基準を一定化するため、マニュアル化も考えております。

新型コロナウイルスワクチン接種の状況は

市川 隆子 議員

議員 東京オリンピック・パラリンピックが開催された中、町でも新規感染者が増えていきます。ワクチン接種率の低い若い世代への感染が広がっております。町の65歳以上とそれ以下のワクチン接種状況を伺います。

また、若い世代へは集団接種をしないのか伺います。

医師会 個別接種優先したい

町長 高齢者2回目接種完了者は4千6百26人中3千8百50人83.2%で、65歳以下と基礎疾患のある方は8月末時点で、1回目接種者が5千6百85人中1千3百14人23.1%、2回目接種者は8百80人15.5%です。65歳以下の集団接種

は医師会から個別接種を優先したいとの意向により、集団接種は人数を減らして実施しました。

小中学校 夏休み明けの対策は

議員 デルタ株が主流となる中での学校生活は夏休み明けが初めてです。学校再開でのクラスター発生は絶対に避けなければなりません、学校での対応について伺います。

県の指導を考慮し 判断

町長 通常の教育課程、部活動、校外学習はそれぞれの感染状況、県からの指導を考慮しながら中止・延期を判断していきます。防止対策の基本である3密を避け、子どもたちの学びを保障していきます。

らくらくタクシー 継続と利便性の向上を

議員 5月から運行が始まり、会員登録者数も利用者も増えてきているようです。

1日7便の運行ですが、利用時間によっては重なってしまう、断る場合もあると聞いています。現在の利用状況を伺います。

また、高齢者にとってドアツードアのらくらくタクシーはやさしい移動手段ですが、継続についての考えと日中独居の方への対応、増車についての考えを伺います。

ニーズもあり継続する

町長 8月末時点で、月の利用枠140〜150の約7割が利用されています。行先は買い物8割のほか、医療機関や金融機関です。ニーズもあるので継続していきます。

健康福祉課長 来年度から

継続であれば利用者の状況をみながら増車も考えていかなければならないと思っています。

日中独居の方についても利用状況をみながら検討していきます。

通学路の安全点検は

議員 6月28日八街市での下校中の児童5人がトラックにはねられ2人が死亡、3人が重傷を負うという痛ましい事故が発生しました。

県は通学路の緊急一斉点検の実施依頼を各市町村にしましたが、結果を伺います。

また、白線など消えている場所も対策を急ぐことを要望します。

7か所の安全対策 を予定

町長 県の要請により8月10日長生土木、警察、役場建設課、教育委員会合同で点検した結果、7か所の安全対策の実施を

決めました。12月頃から速度落とせの路面表示、グリーンベルトの設置をする予定です。

特別障害者手当の 周知を

議員 特別障害者手当は日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に月2万7千3百50円が支給される国の制度です。

申請が必要ですが在宅介護で要介護4、5の人は受け取れる可能性があります。

現状ではあまり周知されていないので周知についての考えを伺います。

広報などで周知

町長 判定は県で行っていますが、広報・ホームページによる周知と併せ認定調査員、地域包括支援センター、ケアマネージャー等と連携し、制度の周知を図っていきます。

固定資産税の申告について

梅澤 哲夫 議員

議員 昨今償却資産税の申告について文章配布がありました。所得税、消費税の申告は毎年定期に行ってまいりましたが、償却資産に対する課税について伺います。

地方税法により

町長 個人、法人にかかわらず町内に事業用償却資産を所有している方は地方税法383条の規定により申告する必要があります。

産業疲弊のなかで

議員 今回農家には回覧及び各戸配布の文章等が届いております。全町に向けての周知方法について伺います。

またコロナ禍での産業が疲弊しているなか、町長の英断で軽減、減免は考えているのか伺います。

まず、周知徹底から

税務課長 町の監査委員の意見に従い、今年度は周知の強化徹底をします。

自治会回覧、実行組合各戸配布、また商工会窓口にも申告のお願い文章を置かせていただいております。

法律を無視してまでも

町長 固定資産税の減免という制度もあります。

産業が疲弊しておりますが、法律を無視してというわけにはいかないと考えます。

大型災害発生したら

議員 令和元年、房総半島台風15号、本年度各地での大災害が発生しております。また、千年前には房総

半島でマグニチュード8の地震があり九十九里に大津波跡という新聞記事もありました。大規模災害時の対応について伺います。

迅速かつ適切な対応で

町長 大型災害についての対応ですが、町防災計画のなかで、海難事故、大規模火災、林野火災、道路事故などについての予防対策、応急対策、復旧対策を定めています。万一の時、早期、初期態勢を確立し、被害の軽減を図り迅速かつ適切な対応が取れるよう考えています。

キーポイントは

議員 最近の災害ニュース等を見ていると、以前の法的な考えから許可が出なかった自衛隊の出動要請が多くみられます。大災害時において各首長さんが指揮権を発揮してもらわなければならないと思います。

近隣市町村長との連絡、県知事への連絡、時には自衛隊への出動要請ができるそうです。町長の考えを伺います。

肝に銘じて

町長 首長の一番の責務は危機管理能力の問題だと思いますし、肝に銘じてやっています。

コロナ発生時の対応は

議員 庁舎内でコロナ感染者が発生しました。今日の感染拡大のなかで致し方ないことだと考えられますが、一番大事なことは発生してしまった後の問題です。どのような対応をしたのか伺います。

自主検査で

町長 感染拡大防止から庁舎内の消毒、続いて感染者及び保健所からの情報収集、感染者の行動歴、濃厚接触者の存在の有無、報道機関への公表、庁舎内に看板設置による

来庁者、住民、職員の安全確保に努めました。濃厚接触者以外は、自主検査となり、町として実施命令はしませんでした。

今後、国・県・他市町村の状況をみながら町独自規定を講じていきます。

予算がないというが

議員 町長答弁でPCR検査には予算がないと言われますが、今回のコロナ禍の非常事態、町長の英断にて処理した後日議会承認でもよかったのではないと思いますが、今後の考えを伺います。

担当職員と協議

町長 個人的にはそう思いしますが、保健所の規定で濃厚接触者でないという料となるため、職員だけという公平の原則から厳しくできませんでした。今後は担当職員とも協議をしていきます。

道路行政について

板倉 正道 議員

**町道1041号線は
有意義な事業と思う
が見解は**

議員 南白亀地区町道1041号線の拡幅工事は完了して10年を経過しますが、未だに道路に關しましての悪評を耳にします。町長道路と揶揄する声に対し決してそのような道路ではない、有意義な道路だと思いが見解を伺います。

**利便性の高い道路
と認識**

町長 町道1041号線は有意義な道路だと思います。この道路は対面交通の不十分な3・7メートルの道路でしたが、車道幅5・5メートル、2メートルの歩道で、機能的や安全性の高い道路が完成し、重要な役割を果

たしており利便性の高い道路と認識しております。

**町道1182号線の
改修計画は**

議員 南日当橋の完成と同時に道路改修も一部を除き終了しました。残り剃金地先の一部になりますが、宅地や家屋が絡んでいることから、地籍調査終了後に着工のことですが、どのような事業で進めるのか伺います。

**国の補助金や起債
を活用して整備**

町長 本路線は避難路としての役割を果たしていますので、町道105号線に接続するまでの2百50メートルの区間については国の補助金や起債を活用して整備します。



北高根交差点

**町道108号線の
歩道設置計画は**

議員 北高根交差点から県道正気茂原線までの千7百メートルの区間ですが、長生村の歩道は整備されており、白子町に入つたとたん歩道が未設置です。町村間の差がありすぎると思います。

また、中間には産直ひまわりもあり、イベント時等は大変混みあいますので、一日も早い設置を望みますが見解を伺います。

**本町も同様な整備
が必要**

町長 現在補助事業で進めている町道107号線終了後、速やかに着手できると検討いたします。

**通学路の緑道再整備
と町内通学路の整備
計画は**

議員 北高根から関小学校までの通学路は道幅も狭く、センターラインの引けない道路です。

学童の安全確保のために緑道帯が設置されました。せつかく設置された緑道帯ですが、生け垣の露出や雑草の繁茂、汚れなどから機能不全の状態です。安全な通学路確保のためにも機能を回復すべきと思いますが見解を伺います。

再整備を進めます

町長 経年劣化により薄くなった所、雑草除去等整備を進めます。

また、町内の通学路の整備は、町道107号線の歩道整備、その他の改良工事を継続し通学路の整備を進めていきます。



緑道帯

**関地区の農道舗装
整備計画は**

議員 南白亀・白濁地区については民家が点在しているため、農道舗装整備は進んでいるように思いますが、関地区、特に西区、北高根の農道舗装は民家が点在しないため、整備されていない箇所が多くあります。

農繁期には路肩にもよれず大変苦慮しております。遅れている箇所の整備を計画的に進めていくのか伺います。

遅れを実感

町長 北高根、関西区の農道は未舗装道路が多く本当にひどいなど実感しております。

自治会に入っていない住民も多く、要望の上がない部分も多くあると思います。

舗装しなければならぬ部分も相当あるように思いますので検討します。

② ①

教育課題にどう取り組む 祭り・イベントの今後の進め方は？

大多和 秀一 議員

6月議会で質問をした教育問題について、現在白子町における様々な教育についての課題が上がりました。今回の質問はこれの中から3点、状況と解決策について伺いました。またこれまでの町の活性を目的として行われてきた「祭り」「イベント」等の評価と今後の方向性について伺いました。

教員の資質向上を図るには

議員 教員のレベルアップが必要であるという評価がありました。向上への施策について伺います。

各種研修を活用

町長 学校教職員は、教育公務員特例法により絶えず研修と研究、修養に努めなければならず、また任命権者は研修に関する計画を立てて実施することにあります。

白子町の研修は、ふるさと教育を実践していく観点から行っています。

教育レベルを上げる とは？

議員 教育レベルを上げるとありますが、本町の教育水準についての見解を伺います。

標準レベルにある と考える

町長 千葉県標準学力テストの全国学力状況調査中学校の進路選択、授業中の児童・生徒の様子など多角的に考察しますと標準レベルにあると考えます。

教育レベルというところが抽象的な表現になりますが、一人ひとりの子供に向き合い、その個性を理解し、その子に合った指導を丁寧に行う教育は、子供達にとって幸せだと感じています。

小学校再編に向けた 取り組みは

議員 小学校再編に向けた取り組みについて伺います。6月の答弁では早い時期に任期中に目安をつけたいとありましたが、工程表を含めて伺います。

まずは検討委員会 を設置

町長 基本として考えて

いかなければならないことは、子供達にとって時代に合わせた教育という観点において、子供達を本当に伸ばす教育について話し合いを持つことが大事だと考えます。

令和4年度に仮称ですが、白子町小学校適正配置委員会を設置し、小学校の適正規模、適正配置に関して基本的な方針、具体的な方策を検討していきたいと思っています。

「祭り」「イベント」 ブランディング化への これからは？

議員 町が主催をし、実行委員会に委託する事業に「花の咲くまちづくり事業」「ふるさとしらこ祭」「生涯学習フェスティバル」などがあります。また補助金として支出、支援をしている事業に「たまねぎ祭り」「イカダのぼり大会」「温泉桜祭り」などがありますが、新型コロナウイルスの影響により昨年度から中止、縮小となっています。

町のブランディング化既存のイベントの内容を見直すという観点から、今後の方向性について伺います。

検討と見直しの判断で進める

町長 地域活性化や経済効果は相当なものがあり、大変有意義だったと思います。しかしながらコロナ禍で、この方法に大きな見直しが必要となつていきます。

参加者の減少や実行委員の負担の大きさもありますので、検討と見直しの判断で進めていきたいと思っています。



令和元年度ふるさとしらこ祭の様子

補正予算等に対する

質疑応答

令和3年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算について

議案第2号

【大和多正夫 議員】

議員 本年の米価はコシヒカリで現在1俵9千円と非常に厳しい価格であります。

白子町の水田農地を維持するためには、町として担い手支援は喫緊の課題だと思えます。

そこで、町独自で農業用機械、また、施設等導入支援として、担い手支援基金（仮称）そういうものを創設することを提案させていただきます。

町長 稲作経営は非常に厳しいと思います。白子町農業が荒廃したら大変だと思っています。

この件については、色々検討すべきと思っています。

【東海林東治 議員】

議員 企画費の委託料3百50万円が今回補正に記載されておりますが、この委託先が決定されているのか、委託先が決定されてなければ暫定的に予算を計上したということですか。総合計画においては、まず庁内企画部門で協議、検討されているのか、委託ありきの認識で予算計上は如何なものでしょうか。

総務課長 来年に実施します後期の基本計画策定作業、その前段となるアンケート調査を実施するものです。

予算確定していませんので委託先は決定していません。

令和4年度に令和5年度からの後期の基本計画を策定するうえでアンケート結果を把握し、その作業に反映させたいの

で、今議会で予算計上させていただきます。

【大和多秀一 議員】

議員 企画費の中で、第5次総合計画後期基本計画の策定委託料3百50万円の内訳について伺います。

また策定にあたって基本的な考え方を伺います。

総務課長 策定を進めるにあたり、町内1千2百

通のアンケートを送付させていただき、その内容の取りまとめをする費用として計上いたしました。

町長 私の公約とある程度整合性が持てるような計画、例えばコンパクトシティ構想などを練り込んだものを形として考えています。

議員 米価の大幅な下落に伴い、町の基幹産業である水田農業への支援策について伺います。

町長 米価の下落により相当打撃を受けていることは確かです。白子町農業をとにかく守らなければならぬという考え方はあります。

商工観光課長 中小企業等事業継続支援金2千5百万円が計上されていますが、基幹的農業者も継続補助金の対象となります。

【市川隆子 議員】

議員 修学旅行のキャンセル料についての内容を伺います。

教育課長 修学旅行については検討中です。延期をした場合、場所を変更した場合もキャンセル料が発生する場合がありますので予算計上しました。

議員 仮に修学旅行がキャンセルになった場合、学校は何か別の計画を実施するのか伺います。

教育課長 すべての小中学校に新しい計画を立てるよう報告させているところです。

仮に中止になった場合、必ず何か実施させます。



こんなことが
決まりました
定例会(第3回)
議案の内容

発議案

【発議第1号】

白子町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

提出者 齋藤 鉄也
賛成者 大多和正之

大多和秀一

板倉 正道

今関 勝巳

(全会一致で可決)

【発議案第2号】

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

提出者 齋藤 鉄也
賛成者 大多和正之

大多和秀一

板倉 正道

【発議案第3号】

事務の検査について

今関 勝巳
(全会一致で可決)

提出者 北田 百人
賛成者 大多和正夫

今井 滋則

梅澤 哲夫

板倉 正道

齋藤 鉄也

大多和秀一

(全会一致で可決)

議案内容

【議案第1号】

町道の路線認定について

(可決)



関駐在所の隣の道路

【議案第2号】

令和3年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算について

(可決)

【議案第3号】

令和3年度白子町国民健康保険事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について

(可決)

【議案第4号】

令和3年度白子町介護保険事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について

(可決)

【議案第5号】

令和3年度白子町ガス事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について

(可決)



決算審査付託

【認定第1号】

令和2年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

【認定第2号】

令和2年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第3号】

令和2年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第4号】

令和2年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第5号】

令和2年度白子町休養施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第6号】

令和2年度白子町ガス事業特別会計歳入歳出決算認定及び剰余金の処分について

決算審査特別委員会
を設置

令和2年度白子町一般会計歳入歳出決算及び5事業特別会計歳入歳出決算の審査を行うため、決算審査特別委員会が設置されました。

この委員会は一般会計及び各特別会計決算の審査のための会議を行い、次の定例会に報告書が提出されます。

選任された決算審査特別委員会委員は次のとおりです。

委員長	北田 百人
副委員長	大多和正夫
委員	大多和秀一
	齋藤 鉄也
	板倉 正道
	梅澤 哲夫
	今井 滋則

※その他は、広報しらこ10月号をご覧ください。

訃報



齊藤 豊彦 議員

齊藤豊彦議員（74歳）が、去る9月7日にご逝去されました。

故人は平成15年12月に白子町議会議員初当選以来、5期に亘り議会議長など数々の役職を歴任され、常に議会の先頭に立ち、まとめ役として町政の進展にご尽力されました。

また、地方自治の多大なご功績により、旭日単光章を受章され、全国町村議会議長会自治功労賞も受賞されました。

議会では、9月17日の定例議会の冒頭に、故人の遺徳をたたえるため、議会を代表して今関勝巳議員が哀悼の辞を送られました。

このたびの訃報は、地元住民や議会としても衝撃であり惜しまれてなりません。ここに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月10日～17日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

世界中を震撼させている新型コロナウイルス、国や地域によってその状況は大きく異なってきた。

我が国では感染の波に翻弄され続けられながらも、ワクチン接種は73%を越え、その効果と国民一人ひとりの努力により現在、減少傾向が続いている。次の波を避け、これまでの日常に少しでも近づけることを心から願うところである。

さて、先日行われた衆議院選挙では、コロナ政策をはじめ世論の逆風の中、与党の苦戦が予想されたが、定数4百65のうち2百93議席を占め、絶対安定多数を大きく超える結果となった。

しかしながら「勝者なき選挙」と言われたことは、今の国の在り方に疑問が残る、説明責任を怠ることなく、正しい方向へ進むことを強く求められていくように思う。

SNSなどを通じて呼びかけられた若い世代へ

の投票の促しは、一定の効果をもたらした。投票率アップの一因となった。次代を担う若者たちのためにも、その期待に応えていかなければならない。

白子町議会では、6月定例会で9名、9月定例会で10名、これまでに多くの議員が一般質問に登壇をした。

町の執行部体制が変わりこれからの町政運営にあたり、是々非々の立場で議論が進められている。

地方自治の二元代表制度のもとでは当然のことであり、納得のいく形でまちづくりを進捗していかなければならない。

町の発展と町民の豊かな暮らしを実現することが両者の責務であり、正確な情報を伝えていくのも義務である。

我が町のキャッチフレーズ「笑顔 元氣 ずっと暮らしたい町しらこ」、生きる力と息吹を感じる、小さくても輝く自治体の姿を求めて、これからもまちづくりを進めていきたい。

大和 秀一

黙食



ご協力をお願いします

手指の消毒



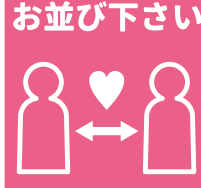
ご協力をお願いします

マスク着用



お願いします

距離を保って



お並び下さい

飛沫対策



行っています

感染予防対策として
地域の皆様のご協力
をお願いします。